

夏の終わりに

2020年8月27日

川上 雄資

長い梅雨が明けるとともに、急に暑い夏が来た今年でしたが、先生方には如何お過ごしでしょうか。

私は、コロナ、暑さに閉じ込められた夏でした。せめてもの救いは、玄関先のバラの枝にヒヨドリが巣をつくって、雛を孵したことです。産卵から1週間程で5羽のヒナが孵ったのが8月5日でした。



以後、私は、息子が中学時代に使っていた竹刀を持って、コロナ警察ならぬ、カラス警察をし、付近の電信柱に止まるカラスを追っ払ったりして、カラスが巣に近づかないよう警戒しました。



その甲斐あってか、幸い、14日には、雛がすべて無事に巣立っていきました。



一番子



末っ子

コロナ禍、暑さの中にも、清々しい一服の涼しさを感じました。

もうすぐ9月です。気候もよくなって、先生方の御活動も活発になるものと存じます。是非、夏の出来事や、これから起こる出来事、近況などを、名誉教授の会のコラムにご投稿くださるようお願い致します。